

雲仙治山だより

発行・連絡先 / 長崎県島原振興局農林水産部林務課

〒855-8501 長崎県島原市内1-1205 電話 0957-63-5073

令和3年(2021)年

4月発行

(vol.5)

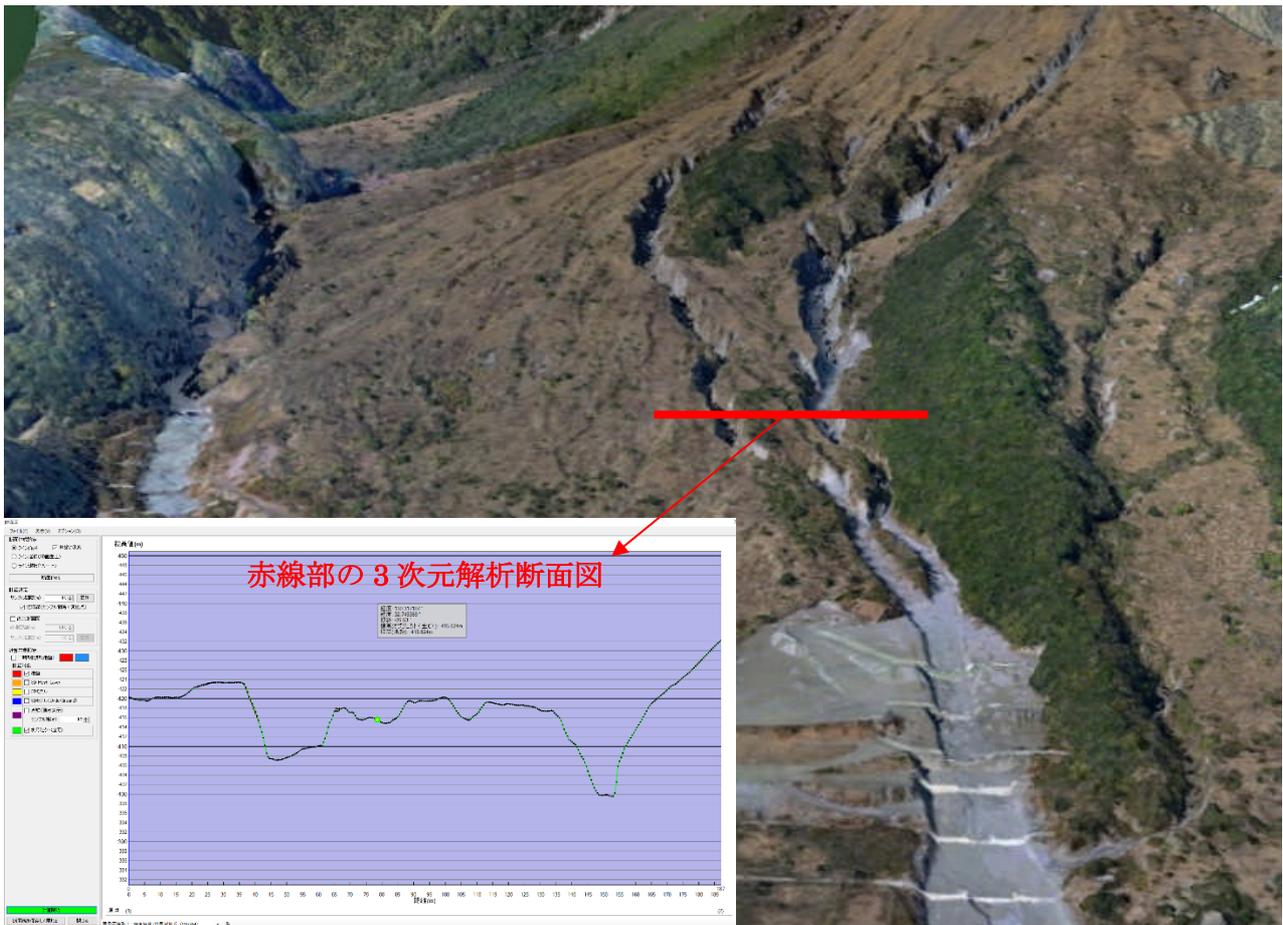
令和2年度 雲仙地区治山事業の取り組み(報告)

1. 観測及び調査

溪流の侵食が進む極楽谷・炭酸水谷の治山対策として平成27年9月から、警戒区域内に無人化施工で治山ダム3基の建設に着手し令和2年3月に完成しました。

しかしながら、「雲仙地区治山対策検討委員会」より、同溪流については引き続き不安定な状況にあり、地形変化や土砂流出状況等について観測及び調査を実施するべきとの提言があり、①定期調査・観測(ヘリ空撮による三次元(SfM)解析・ドローン空撮)、②航空レーザー測量を実施しました。

これまでの調査・観測結果については、「雲仙治山だより」を通じて中間報告をしましたが、同溪流については、三次元(SfM)解析、航空レーザー測量の成果を反映した3次元高速表示システムによる3次元解析を実施した結果、年間を通じて**急激な変化はなく土石流の発生は確認されませんでした。**



【3次元高速表示システムによる解析画像】

2. 航空実播工

治山ダムの工事に伴い裸地化した一帯の早期緑化を図るため、ヘリコプターで空から草木の種子を散布する航空実播工を実施しました。この状況については、多くのマスコミ・報道関係に取材していただきました。

今回の航空実播工は、溶岩ドーム頂上部から約 2km 下流の南東斜面（炭酸水谷・極楽谷）にある治山ダムの周辺部に 2 月 3・5 日の 2 日間で 3.9ha の緑化に取り組みました。

なお、散布したものは、ヨモギやイタドリといった 4 種類の草本の種子や化成肥料をゲル状にした約 50t を地上 5～10m から空中散布しました。

このように種を散布することによって、森林への移り変わりを促進し、土砂崩れなどを防止する安定した山腹斜面への造成が期待されます。



【マスコミ・報道関係者への説明】



【ヘリコプターによる散布状況】

令和3年度 雲仙地区地域防災対策総合治山工事予定

令和3年度は下記事業を計画しています。

① 航空実播工（追肥）

令和2年度に実施した航空実播工により散布された草本の成長を促進するため、空中から肥料等を散布する航空実播工（追肥）

② 水無川流域（赤松谷本流・極楽谷・炭酸水谷）における観測・調査

「雲仙地区治山対策に関する提言書」により、極楽谷・炭酸水谷では、3基の治山ダム（谷止工）の完成によって、谷の侵食を抑制し土砂や水の流れを整える機能は一段と向上したとの評価を得ました。しかし、谷は引き続き不安定な状況にあり、侵食による地形変化や土砂流出状況等について観測及び調査を実施し、その結果を見極め、必要に応じて追加対策を検討していくことになりました。

このため、昨年度に引き続き、観測・調査を長崎県農林技術開発センターと連携し、定期的の実施するとともに、本誌「雲仙治山だより」の定期的な発行を通じて、これからの観測・調査の結果や治山対策について情報を発信し、地域の皆様の安心・安全に寄与してまいります。